

<ニュースリリース>

## 吹付ウレタン断熱工事用原液 (A 種 1H) の安定供給に光明 発泡剤 HFO の新工場 (ハネウエル社) が完成

2022 年 3 月 28 日

一般社団法人日本ウレタン断熱協会（東京都中央区、会長：丸山 和久）は、2021 年 11 月 14 日に吹付ウレタン断熱工事用原液（以下、「原液」という）A 種 1H の吹付ウレタン断熱工事業者への供給が遅れ、建築現場における A 種 1H による吹付ウレタン断熱工事遅延の懸念を公表し、2022 年 1 月 27 日には供給状況がさらに悪化し、吹付ウレタン断熱工事の遅延が継続する見込みにあることを公表しました。

原液 A 種 1H の供給不足の原因は、発泡剤 HFO の製造元であるハネウエル社の米国工場が昨年 8 月末と 9 月月初めの二度にわたるハリケーン（アイダ、ニコラス）による被害を受け、発泡剤 HFO の生産が停止していることや、中国工場が電力不足により生産量が大幅に減少していることなどによります。

ハネウエル社のフォースマジュール宣言は本日現在解除されていませんが、徐々に稼働が開始され、中国工場においても生産量が回復しつつある状況にあることが確認されています。4 月からは需要を満足させる数量には至りませんが徐々に原液の供給も回復すると思われます。

かねてより、ハネウエル社においては発泡剤 HFO の生産体制を強化するため、インドに新工場の建設を進めてきました。ようやくこのインド新工場が本年 4 月末に建設完了の見込みにあることを確認しました。ハネウエル社によると安定生産までに数か月を要するとのことですが、本年秋には安定的に供給が開始されると思われます。（詳細は 4 月初旬にハネウエル社から公表される予定）

ハネウエル社の米国・中国工場の稼働再開や、インド新工場の新設により本年秋以降には、発泡剤 HFO の従来以上の安定供給がされると見込まれます。これにより、原液の供給も安定化され A 種 1H の吹付ウレタン断熱工事は市場の需要を十分満足する施工量を確保できる見込みとなりました。

これを受け、(一社) 日本ウレタン断熱協会としては、今後新規着工予定の物件について、従来通りの吹付硬質ウレタンフォーム A 種 1H を継続して使用いただくことを推奨してまいります。

## 【解説】

### ■（一社）日本ウレタン断熱協会について

（一社）日本ウレタン断熱協会は、吹付ウレタン断熱工事業者により組織された団体で、1987年（昭和62年）に設立されました。当協会の将来の後継者の育成を推進するため、国家資格・熱絶縁施工技能士（吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事）の修得と、社会貢献として安心・安全と耐久性のある吹付ウレタン断熱工事の供給を目的としています。

<http://www.jua.cc/index.html>

### ■吹付ウレタン断熱工事用原液

原液はポリイソシアネート成分とポリオール成分の2成分からなっており、ポリオール成分には硬質ウレタンフォームの成形に必要なポリオール、発泡剤、整泡剤、触媒、難燃剤等を混合されています。この2成分を混合することでポリウレタンの成形反応と泡化が同時行われ、硬質ウレタンフォームが成形されます。発泡剤HFOを用いた原液はJIS A 9526のA種1Hに分類されている。

### ■吹付ウレタン断熱工事について

吹付ウレタン断熱工事は、ドラム缶入りのポリイソシアネート成分とポリオール成分の2成分と専用の吹付け発泡機を現場に持ち込み、吹付け発泡機にて温度と圧力が調整し、2成分を吹付けガンに圧送し、現場にて2成分を混合しながらスプレーして断熱材硬質ウレタンフォームを成形する工事です。

## 本リリースに関する問い合わせ先

一般社団法人日本ウレタン断熱協会

専務理事 <sup>きつや</sup> 橘谷 幸夫

Tel : 03-3667-1075      Email : insulplz@ra2.so-net.ne.jp